



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 47 号

令和6年2月1日(年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習・スポーツ推進課

☎788-4970

✉shogai@city.okegawa.lg.jp



令和5年度「家庭の日」
ポスターコンクールで
優秀賞を受賞された皆さんの作品です。
おめでとうございます。(敬称略)



桶川市青少年健全育成市民大会



「きれいだったなふじの花」
川田谷小学校 3年 岩崎 結



「地いきのおまつりに家族でさんかしたよ」
「わたしはおはやくしてたいことをたいたよ」
桶川小学校 3年 岸 姫花



「ダジャレを言って大わらい」
日出谷小学校 1年 佐久間 悠



「ぼくの大切な家族～新しい命の誕生～」
日出谷小学校 6年 加藤 隼人



「幸せになれるまほうの言葉」
日出谷小学校 5年 佐久間 香里



「きれいになるとうれいね」
桶川東小学校 5年 高瀬 茉莉



「たくさん遊んだ帰り道」
桶川西中学校 2年 佐藤 杏咲



「家族揃って全力応援!!」
桶川中学校 2年 二瓶 華音



「世界の平和は家庭から」
桶川中学校 2年 河合 杏莉

市民大会が行われました

幸せに生きる心の育み方



オフィス・イマココ

代表

西畑 良俊 氏

西畑さんは、埼玉県春日部市の出身で、埼玉県立浦和高等学校を卒業し早稲田大学法学部に進み、箱根駅伝を目指したそうです。1年の時には出雲駅伝に出場するも、結局夢かなわずに卒業。大学時代は、勝たなくてはいけないという勝手な思い込みが自分自身を追い込み、周り全員を敵と感じ、ノイローゼになったそうです。20代はうつ病に苦しみ、眠

れない日々を過ごしたとか。転機が訪れたのは、新潟・粟島の島おこしに参加したとき。思い返せば、「Why?」から「How?」へと思考を転換できたことが、今に至るきっかけになっているように思います。とおっしゃっています。その実体験から、今ではメンタルコーチ、埼玉県家庭教育指導員など様々な分野で活躍されています。

「皆さん今幸せですか？」との質問から講演がスタート。過去のアメリカでの調査で、「幸せです」と答えた方を10年後に追跡調査し、同じ質問をしたら90%の方が「幸せです」と答えたそうです。中には明らかに10年前よりも幸せではなくなっていると思われる方でも幸せだと答え、反対に「幸せではない」と答えた方の10年後の追跡調査の結果では、90%の方は再び「幸せではない」と答えたそうです。「しあわせはいつも自分のこころがきめる(あいだみつお)」は結論であり名言だと思えます。まずは、自分を認めてあげて「自己肯定感」の6項目を実践して下さいとのこと。

- ① 自尊感情(自尊心) 「自分はかけがえない存在だ」と思えること
 - ② 自己受容感 「自分は自分であって大丈夫」と思えること
 - ③ 自己効力感 「自分にはできる」と思えること
 - ④ 自己信頼感 「自分は大丈夫」と信じられること
 - ⑤ 自己決定感 「自分で決定できる」ということ
 - ⑥ 自己有用感 「自分は役に立っている」と思えること
- このように思い、考える事で、気持ちが変わっていくそうです。
- 講演の途中で、ワークをしました。2〜3人で組になり、各々1分間で評価し、なぜその点数なのかを説明し合います。②相手の話で感じたことを発表し合います。③今までの話で感じたことを発表し合います。その後で、話を聞くポイントを教えてもらいました。
- ①話を聞くスイッチを入れる。②この人は素晴らしい人だと信じる。③暖かな眼差しでアイコンタクトをする。④表情を観察して相手の表情に合わせる。⑤声のトーン、テンポも相手に合わせる。最後にコミュニケーションはダンスである。楽しむ心を大切に、相手との違いを楽しみむ心(の余裕)を持つよう心がけて下さい。
- 人は忘れる生き物です。1時間です6%は忘れてしまいます。その日のうちに復習し、翌日、3日後、1週間後、1か月後にそれぞれ復習をすることで忘却率が5%になると言われています。今日の講演内容を忘れないように、間隔をあけて復習してみてはいかがでしょう。(岩田)

第36回
桶川市青少年
健全育成市民大会



11月5日(日)、桶川市東公民館大ホールにおいて、第36回桶川市青少年健全育成市民大会が開催され、開会行事に続き、講演会及び表彰式を実施しました。

講演会では、オフィス・イマココ代表でメンタルコーチ、研修講師の西畑良俊氏による講演、「幸せに生きる心の育み方」が行われました。

その後、「青少年育成成功労賞」の表彰が行われ、さらに市内小・中学生が取り組んだ「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰と作文コンクール受賞者による作品の朗読が行われました。(土館)

非行防止街頭キャンペーン



7月7日(金)、午後6時より帰宅途中の方やお買い物に来られた方などが行きかう桶川駅周辺で、多くの構成団体が集まり、リーフレットなどの配布とともに非行防止を呼びかける非行防止街頭キャンペーンが行われました。(西)

市民まつり非行防止キャンペーン

11月3日(金)、汗ばむほどの晴天の中、市民まつりが開催されました。桶川小学校・中山道において巡回指導員及び関係者の方々が、風船や啓発物品を配布し広く非行防止へのご協力を呼びかけました。(西)



おけがわ春のふれあいフェスタ 2023

5月14日(日)おけがわ春のふれあいフェスタ2023が開催されました。

開会式では、子ども・子育て支援功労者、桶川市社会福祉協議会への寄付者にそれぞれ感謝状が贈呈されました。市民ホールでは相撲甚句と合唱。野外ステージでは、大型絵本の朗読や大型紙芝居、補助犬のデモンストレーションが催されました。

5月8日にコロナが5類に分類されたことで、大勢のお客様が来場され会場は溢れんばかりの大盛況でした。(澁谷)



これからも元氣!澁谷会長!



ある日のこと
いつも元気な澁谷会長が
休まこわしてしまいました



(ちーかま)

巡回指導員委嘱式及び研修会

6月8日(火)、市内小・中学校のPTAから選出された30名の巡回指導員の方々に、委嘱式及び研修会を行いました。巡回指導員は、月2回の街頭や娯楽施設でのパトロール、年2回の非行防止キャンペーン等に参加し、青少年の健全育成のために活動していただいています。

研修会では、今年度も日本ガーディアン・エンジェルスの小田啓二理事長、大和田尚子理事をお招きし「Dere to Care〜あえて気にかける『アフター・コロナ』のパトロール」と題し、パトロール中のエチケット・相手と接する時の留意点などをお話いただきました。

また、7月15・16日に、4年ぶりとなった桶川祇園祭では、日本ガーディアン・エンジェルスの方々と巡回パトロールを行いました。(小高)



青少年健全育成市民会議総会

5月21日(日)、桶川市役所において、令和5年度桶川市青少年健全育成市民会議総会が開催されました。

総会に先立ち、「子育て〜プラス思考の支援〜」と題して、埼玉県家庭教育アドバイザーの美田かおるさんに講演していただきました。

特に印象に残ったことは「リフレーミング」についてです。リフレーミングとは、物事を見る見方を変えるという意味です。子育てにおいては、その子の短所をリフレーミングして長所に変えることで、親も子も気持ちよく過ごすことができるかもしれません。

プラス思考で気持ちを切り替えることの大切さを学びました。(西永)



青少年育成 埼玉県民会議 会長より表彰

今年度の埼玉県民会議表彰にて、
桶川市青少年健全育成市民会議の構
成団体である、桶川市子ども会育成
連絡協議会の秋山節子氏が、「青少
年育成成功労賞（個人）」を受賞しま
した。



令和5年度 桶川市青少年 健全育成市民会議表彰者



青少年育成成功労賞

- | | |
|----------------------|-------|
| 桶川市人権擁護委員会 | 和久津吉彦 |
| 桶川地区更生保護女性会 | 梅原とも子 |
| 桶川サッカースポーツ少年団 | 関根 良和 |
| 桶川ヤンキーススポーツ少年団 | 安齋 豊 |
| 合気道桶川愛気会 | 尾澤 透 |
| 桶川ジュニアリーダーズクラブ | 高橋 龍一 |
| 桶川市子ども会育成連絡協議会 | 鈴木 美枝 |
| 桶川市PTA連合会 | 野頭 國郎 |
| 桶川カーディナルス
スポーツ少年団 | 狩野 将也 |
| 桶川西JVC | 高梨 隆博 |
| 桶川市柔道連盟 | 阿部 靖代 |

11月5日に行われた表彰式では、青少年の育成に顕著な功績のあった個人11名が「青少
年育成成功労賞」を受賞されました。
また、市内小・中学校の児童と生徒が取り組んだ「私たちの
主張」作文コンクールでは178点の応募があり、優秀賞及び優良
賞各6点の表彰を行いました。
さらに、「家庭の日」ポスターコンクールでは429点の応募が
あり、優秀賞及び優良賞各9点の表彰を行いました。表彰され
た皆様や作品を紹介します。
※ポスターコンクールは1・4・5ページに掲載
※各受賞者の写真は市民大会の際に掲載
(敬称略)



会長 澁谷 光章

優良賞作品



「いただきます!!」
桶川東小学校 4年 島村 幸歩



「赤ちゃんがうまれてうれしいな」
桶川西小学校 3年 庄田 海斗



「きれいだね」
桶川東小学校 4年 荘司 優羽



「家族でつくった大きな顔ピザ!」
桶川東小学校 3年 高瀬 和俊



「たのしいプール」
桶川西小学校 2年 村上 虎徹

「私たちの主張」作文コンクール入賞者

優秀賞

農業家になりたい

川田谷小学校

4年 新井 夏帆

いじこハンターボックス

桶川西小学校

6年 関 つむぎ

心のこもったあいさつを

桶川東小学校

6年 小嶋 遼華

A-1に負けない

加納中学校

1年 野澤 歩夏

誰もが生きやすい社会に

加納中学校

2年 笹代 佳蓮

左利きの苦勞

桶川中学校

3年 原 悠莉

優良賞

ぼのしやういのはゆめは運転士

桶川西小学校

4年 赤石 朔玖

わたしのしよ來のゆめ

日出谷小学校

4年 地引 春乃

性別違和について

日出谷小学校

6年 細井 唯名

地球に住んでいる人々へ

桶川中学校

1年 宮沢 りさ

世の中の平和について

桶川中学校

2年 内倉 達志

周りの人の存在のありがたさ

加納中学校

3年 檜垣 花



桶川市青少年健全育成市民大会

●●● 作文講評 ●●●

小・中学生の皆さんの主張は、自分の将来、未来についての考えや夢、周りの人々への感謝の気持ち、誰もが生きやすい社会、などいろいろなテーマについて考えているものでした。身近な出来事に疑問をもつ豊かな感性をもっていること、体験し、見聞きしたことをきっかけに考えを深めていくこと、その思いを作文に表現できることは大変すばらしいことです。皆さんの未来を切り拓いていこうとする気持ちをこれからも大切にしてください。(杉山)

●●● ポスター講評 ●●●

今年是全国的な外出自粛がないため、家族で外出したり遠距離にお住まいの親戚に会いに行かれたりする様子を描いた作品が多く寄せられました。各作品には明るい色を多用しながら細かいところまで描いた家族の笑顔。この表情豊かな家族の姿から温かい雰囲気が伝わってきます。

このポスター制作が家庭のあり方や意義を見つめ直し、家族の絆をより一層深める機会の一つとなれば幸いに存じます。(岡安)

ポスターコンクール

「新幹線でおじさんとおばさんにあいこきました」
川田谷小学校 6年 黒田 朔矢



「ひまわり畑」

加納中学校 2年 大島 美優



「家族はどんな時でも私の応援団」

加納中学校 3年 武田 桃果



「家族でホタル鑑賞」

桶川中学校 1年 西山 優

埼玉県等主催「家庭の日」ポスターコンクールでテレビ特別賞を受賞

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する、今年度の「家庭の日」ポスターコンクールにおいて、桶川西中学校の佐藤杏咲さんの作品「昼寝現場目撃」が、テレビ特別賞を受賞しました。

※写真は表彰式の際に撮影



2023 親子ふれあいウオーク

川田谷地区

10月7日(土)、川田谷地区の「親子ふれあいウオーク」が開催され、77名の参加者がウォーキングを楽しみました。

配られた地図とクイズシートを手



配られた地図とクイズシートを手
に農業センターをスタートし、八幡
神社、はに
わの里、原山
古墳群、桶川
飛行学校平
和祈念館、
泉福寺、富
士見ホテル
親水公園の
チェックポ
イント、ク
イズポイン
トを巡りな

がら8キロを歩き、また農業センタ
ーに戻ってきます。

出題のクイズは意外と難しく、由
来の書いてある立て札をきちんと読
まないといけないところもあり、
それぞれの場所を知ることができ
とても勉強になりました。

桶川飛行学校平和祈念館では、オ
ケちゃん応援に来てくれていて、
みんな嬉しそうに一緒に記念撮影を
しました。

富士見ホテル親水公園では、射的
があり、子どもたちが声をあげなが
ら楽しんでチャレンジしていました。
道中ちよつとしたハプニングや、
風が強く帽子を飛ばされてしまつた
りなどいろいろありました。が、天気
が良く、道端では子どもたちがどん
ぐりを拾ったり秋の田畑や自然を感
じながら、和やかな雰囲気でも
楽しく歩くことができました。(黒田)

坂田加納地区

10月21日(土)、清々しい秋晴れ
のもと、坂田・加納地区の親子ふれ
あいウオークが開催されました。参
加者総勢77名は、坂田コミュニティ
センターをスタートとゴールに、ペ
に花ふるさと館、氷川天満神社、後
谷公園、わんぱく村をチェックポイ
ントとし、ゴールを目指します。最
初のポイントではオケちゃんとの写
真撮影があり、ゴールの時に完歩証
と一緒に受け取れます。途中には、

トイレ休憩もあり安心。クイズポイ
ントや、射的のイベントもあり、約
7kmの道すじ
に華を添えま
した。開催に
あたり当日は、
青少年相談員
やジュニアリ
ーダーのお兄
さんお姉さん
にも、お手伝
いいただきま
した。(対馬)



ひまわりのつばき

●昨年4月に初めて手術入院を経験し
ました。術後の夜からは絶対安静状態
で、お腹は点滴のパイプを含めて計3
本の命のパイプが差し込まれていまし
た。それを見つめて管理してくださつ
たのが天使であるナースの皆様です。
本当にありがとうございます。(澁谷)

●マスクを外しての生活に慣れ始めた
所。久しぶりにマスクをつけて息苦し
さを感じました。マスクを毎日してい
た時は感じなかったのに！習慣って凄
い！子ども達にはマスク生活が早くな
くなってくれるといいな。(小高)

●子育てが大変な時に「今が一番良い
時ネー」とよく言われたものだ。いや
はや今となっては、それがよくわか
る。(西水)

●仕事も在宅勤務から出勤に変わりマ
ックスに！久しぶりに忙しい一年が戻
ってきて、もう息切れしてます。ご迷
惑をかけない様にもう一息と、頑張る
毎日です。(岩田)

●家族、それぞれチョコレートの厚い
壁に立ち向かっている。でも大丈夫！
みんなチョコレート大好きだから！自
分のペースで全部たべちゃおう！(西)

●昨年春に起こした車の横転事故の件
が未だに終わっておらず、気を付けて
走っていたつもりだったが、こちらが
被害者とはいえず、十分それ以上に気を
配ってハンドルを握らねばと思つた。
(黒田)

●我が家でたまに開催するお菓子パ
ーティー。買い込んだお菓子を皆でワイ
ワイお喋りしながら頬張る、家族だん
らんタイム。君たちが巣立つまで、開
催できると良いなあ。(柳田)

●自分が子どもの頃、母は敬うべき親
であり偉大な存在だったのだが、子育て
でも終わった今は姉妹とか友人同士の
様。そんな感じがちよつと嬉しいこの
頃。(対馬)

編集後記

広報「ひまわり」を最後までお読み
いただき、誠にありがとうございます。
今年度はコロナだけでなく、インフ
ルエンザも大流行しましたが、皆さま
元気に過ごしてくれましたか？子ども達も心
身ともに元気に、そして安心して過ご
せる環境づくり、それは我々大人の役
目だと思えます。生活スタイルや友達

との過ごし方も、私達が子どもの頃と
比べると、どんどん変化している中、
子ども達を理解し、そして寄り添える
ように：私達も進化していかなければ
ならないですね。いくつになっても日
々勉強だなあと、改めて感じた編集作
業でした。

最後になりましたが、広報「ひまわ
り」発行にあたり、ご協力いただいた
皆さまに心より感謝申し上げます。
(柳田)